

16.4.3分野別団体ヒアリング(環境・市民生活)

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
A	高齢者のIT学習の場	高齢者のITニーズは高いが、自主学習の場が少ない。
	市民施設の目的別のバランス	市の施設を見ると、体力向上と比べ、知力向上のバランスが悪い。
B	NPOの施設利用	NPOが相互に切磋琢磨していく場がほしい。武蔵境の新公共施設や旧中央図書館を有効活用できないか。
C	コミュニティセンターのパソコンの利用状態	コミセンを随分使っており、武蔵野市の誇り得る施設と思っている。ただし、パソコンの稼働率について疑問がある。
D	コミュニティセンターの情報発信の手法	地域コミュニティとしてはいまだ活字の方が実際に届いているという認識だ。ホームページもまだまだ精査がいる。何を目的として、その手法として何が良いのか考えねばならない。
E	ヒューマンネットワークセンターの活用	ヒューマンネットワークセンターは、指導者養成もしたいが、場所も機会もない。やりたいことはあるが、場所や人材がないことで行き詰まっている。
F	コミュニティセンター間のネットワーク	コミセン同士のパソコンによるネットワークは難しい。リアルタイムの施設予約をするのなら、システム構築に何千万円もかかるだろう。
	コミュニティセンターの広報	コミセンの広報は、従来は紙による新聞を出していたが、いまは10箇所がホームページを立ち上げた。見ている層が違っており、それによって新しいコミュニケーションも生まれてくる。両方とも充実していかなければならない。
G	コミュニティセンター建て替え時の対応	コミセンの建て替えの際には地元の声を聞いてほしい。
H	コミュニティセンターの機能	コミセンの機能は多様化し、当初の機能と違ってきている。受付業務が多くなった一方、受付の有償業務の度合いなど、窓口業務に対する考えはあまり変わっていない。
	コミュニティ評価	コミュニティ評価についてだが、一部の範囲の評価のみであり、本来のあり方、機能に対して評価がされていない。経営資源的な点検や、地域特性のあるものもみてほしい。
I	コミュニティの担い手	コミュニティ協議会の運営委員や青少協、地域社協など顔を出す人間が皆同じだ。若い人をこれからどう取り込んでいくのか。また、はたして団塊の世代は地域デビューするのだろうか。

16.4.3分野別団体ヒアリング(環境・市民生活)

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
J	コミュニティづくりの方向性	コミュニティの形成が今の形で本当にできるのかと思う。防災・介護・ごみ・環境と地域で解決すべき問題があり、本当のコミュニティづくりをどうするか方向性を示す必要がある。
	ごみの集団回収によるコミュニティづくり	資源物回収を集団回収に一本化し、市内全域で組織化する。市が育成する方針を示せばできるのではないか。
	環境問題への意識付け	検討課題に環境学習が組まれている。リサイクルセンターやリサイクルプラザなど環境学習をする場をつくったほうがよいという答申もあった。長計の中に「環境学習が必要です」と書くだけでなく、具体的なものをお願いしたい。
	ごみの分別基準	分別基準が自治体によりばらばらだ。それがごみ行政に対する不信感となっている。まずは三多摩でそろえ、いずれは全国統一すべきではないか。
	クリーンセンター建て替え	中間処理施設の建て替えについては、単独処理となることを恐れている。人口40～50万人程度を対象としないときちんとした処理場はできないのではないか。
	ごみ処理経費	ごみの減量にはなるのかもしれないが、有料化や個別収集では、経費が増えるばかりだ。回収日を週1回とするなど、回数を下げていくことがコスト低下につながると思う。
K	ごみゼロ社会	ごみゼロ社会を長期計画の目標としてもらいたい。市民・企業・行政が一体で取り組み、10年後にはごみゼロ社会を実現したい。
L	クリーンセンター建て替え	クリーンセンターの建て替えについては、市民参加での検討をしてほしい。
	パートナーシップ	本当のパートナーシップとは何なのかを考えて欲しい。特に環境問題は行政だけではやりきれない。市民の知恵も借りながら施策を進めて欲しい。
	情報の共有	情報の共有についてだが、行政側は市民がこういうデータがほしいと言った時、すぐに出せる仕組みづくりをして欲しい。
	環境問題への意識啓発	環境問題について、市民が一つでも二つでも自ら行動を起こすような表現をして欲しい。
M	文化振興	討議要綱では文化に関する表現が薄い。文化は一朝一夕にできるものではない。文化をどのようにつくるのかを十二分に反映していただきたい。
N	歴史資料館	歴史資料館についての記述は心強い。集まった資料は公開して欲しい。
	ごみ出し指導	朝、散歩していても生ごみが目立つ。実感としてはアパートの前が乱れている。アパートのオーナーが知らしめるのと同時に不動産屋にも指導してもらってはどうか。
	ムーバス新路線	市民会館で会の事業を行っているが、北町や緑町から境への足の便は悪い。ムーバスを考えて欲しい。

16.4.3分野別団体ヒアリング(環境・市民生活)

発言者・団体	意見タイトル	意見要約
O	地域の自立	地方分権推進法ができ、地域の自立化という方向に行っている。そういう考え方を策定委員会がどう見るかということも必要だ。特区制度など申請して新しいことをやるという考え方も入れてほしい。
	自然環境	井の頭公園、小金井公園など他市に越境しているが、これらの自然環境を一つの市だけで生かすのは難しい。井の頭公園や神田川などを生かす工夫を積極的に考えてほしい。
	計画概念図	計画全体の概念の体系図がないのでつくってほしい。
P	商工振興の担い手	商工振興には、商店会連合会と並べて、商工会議所も記載してほしい。
	吉祥寺のまちづくり	吉祥寺については、駐車場の問題について記述してほしい。
	工業活性化	商工振興について、工業活性化について触れられていない。
	武蔵境のまちづくり	武蔵境のまちづくりについては亜細亜大学に期待している。
	商工業者の実態把握	商工業者の実態の把握について、商工会議所では限度があるので、行政の力を借りたい。